

令和5年度 第1回 喜多方市地域公共交通会議 議事概要

1 日 時 令和5年7月31日（月） 10:00～10:55

2 場 所 喜多方市役所 大会議室

3 出席者 出席者 18 名

遠藤忠一会長、橋谷田弘由副会長、津田弘幸委員、
山内富士夫委員、鈴木敏生委員、星隆委員、安田茂委員、
今井輝雄委員、田代衛委員、大関信二委員、斎藤純委員、
佐々木由隆委員、諏訪慎弥委員、小椋圭一委員、五十嵐敦委員、
小野幸一委員、大島鉄三委員、佐藤潤委員

欠席者 11 名

五十嵐武委員、澤井淳委員、安部のり子委員、渡部幸博委員、
穴戸紳一郎委員、山田保道委員、遠藤章委員、松原実委員、
佐藤祐一委員、渡部和昭委員、安藤義弘委員

オブザーバー 6 名

会津乗合自動車(株)、会津若松市、北塩原村、
喜多方市熱塩加納総合支所、山都総合支所、高郷総合支所

4 質 疑

<令和4年度事業報告・収支決算について>

Q 繰越金が757万円あるが、補助金が減らされることはないか。

A のるーと喜多方の実証運行に対する県補助金であり、実際にかかった費用に対する補助金であるため、減額されることはない。繰越金については残額が多いことから、今年度の市からの負担額を減らす方向で調整するか、その他の使い道を検討したい。

→ 承認に異議なし。

<予約型乗合交通、まちなか循環線の利用状況について>（報告）

Q 高齢者のアプリ利用に向けた対策はどのようなことを行っているか。

A スマホ教室を開催し、スマートフォンやのるーとアプリの使い方に慣れていただく取り組みを行っている。また、のるーとアプリよりも使い方が簡便なLINE予約機能の導入などを検討しているところである。

Q 運行システムについて、ルーティングが最短距離で案内しない場合があるので今後改善してほしい。

A ルーティングについては、AIが学習を重ねて最適な運行経路を導き出すが、

現時点では運行件数が少なく学習した経路を最適化するまでには至っていないのが現状である。なお、運行経路については、システム導入事業者であるネクスト・モビリティ㈱の技術担当と調整を行っているところであり、今後も改善に向けて調整を行っていききたい。

Q のるーと喜多方の運行について、最終的にはスクールバスと統合するのか。

A スクールバスは学校を統廃合した地域や遠距離地域において教育委員会が運行しているが、のるーとスクールは小学校 3 km 以上、中学校 6 km 以上の中長距離地域において運行しており、現在のところ統合する予定はない。

Q 黒岩地区など過疎地域の交通対策はどうするのか。

A のるーと喜多方においては、現在 5 行政区がデータ通信エリア外であることや、運行に危険を伴うこと、遠距離地域であり効率的な運行ができないことなどから運行エリアには入っていない。今後は現在運行している福祉バスなどとの調整を検討していききたい。

< 裏磐梯線の初乗り運賃改定について >

特になし

→ 承認に異議なし。